

令和3年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<h4>1 一人一人の児童生徒の尊重</h4> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>児童、教職員共に「4」「3」9割を超えておりきめ細かな対応ができています。保護者のポイントはやや低めであり、さらなる対応や情報発信により教育活動の可視化を図りたい。</p>	<h4>2 友達への思いやり</h4> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>教職員、児童共に100%に近い数値であり一定の成果が表れている。保護者の中に「3」という受け止めが若干あり、今後も思いやりや友達を大切にすることを育てていきたい。</p>	<h4>3 道徳・心の教育の充実</h4> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）</p> <p>保護者 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>「4」「3」の割合は、教職員が100%に対して保護者の割合は90%程度である。道徳授業参観や親子道徳の日の取り組みがコロナ禍で十分発信できていない状況がありオンラインの有効活用等考えたい。</p>
---	---	--

②確かな学力を育む教育の推進

<h4>4 意欲的な学習態度</h4> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>3者とも「4」「3」の割合が90%を超えており、一定の成果が表れているといえる。今度も、より一層楽しくわかる授業に向け取り組みを進めることでさらなる学習意欲の向上に努めたい。</p>	<h4>5 授業力向上</h4> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>3者とも「4」「3」の割合が90%を超えており、日々の授業改善の成果が表れている。今後も校内研修の充実を図り、ICT活用による授業改善に努めていきたい。</p>	<h4>6 ICT活用</h4> <p>子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>タブレット端末が配布されて2年目を迎えた。教師のスキルが上がり授業での活用が大幅に進んでいる。また、子どもたちのスキルの高まりもあり、授業での活用も充実してきた。</p>
---	---	--

③健やかな体を育む教育の推進

<h4>7 健康づくり</h4> <p>子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>3者ともに「4」「3」の割合が8割を超えている。児童、保護者の中に「1」が若干あり、今後も生活点検等の取り組みを家庭と連携しながら進めたい。併せて基本的な生活リズムの定着を目指したい。</p>	<h4>8 児童生徒理解</h4> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>3者とも「4」「3」の割合が90%を超えており、一定の成果がうかがえる。しかしながら「1」が保護者、児童の中に少数あり、今後もきめ細やかに児童理解に努めていく必要がある。</p>
--	--

④特別支援教育の推進

<h4>①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実</h4> <h4>9 いじめや問題への対応</h4> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>3者とも「4」「3」の割合が80%をこえており、きずなアンケートの活用や生徒指導朝会などでの共通理解の成果が表れている。今後もさらに早期発見早期対応に努めていきたい。</p>	<h4>10 学校の支援体制</h4> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p> <p>保護者 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>コーディネーター会も2年目を向かへ、支援体制の充実につながってきている。今後もきめ細かに児童を見つめ支援につなげていきたい。</p>	<h4>11 共生社会を担う人材の育成</h4> <p>「交流及び共同学習」等の実施は、相互理解の促進につながっていると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
--	--	---

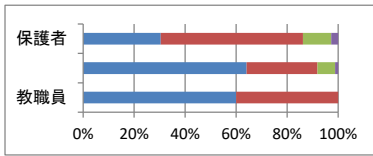
⑤特別支援教育の推進

<h4>12 安全と事故防止</h4> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>3者とも「4」「3」の割合が90%を超えている。避難訓練や保険の授業をさらに充実させ、自分の命は自分で守る教育の推進に努めたい。</p>	<h4>①子どもたちの身近な安全対策の充実</h4> <h4>13 施設・設備の安全管理</h4> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>施設の老朽化もあり、保護者の中には評価の低い方もいる。これまで通り、安全点検やそれに基づく営繕等を速やかに行っていきたい。</p>
--	---

②最適な学習環境の整備

14 教育方針・目標の理解

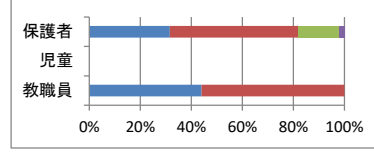
学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



3者とも「4」「3」の割合が90%を下回っている。コロナ禍でPTA総会や行事等の中止などもありその影響が出ているものと思われる。オンライン等の活用も含め情報発信の在り方を検討していきたい。

15 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

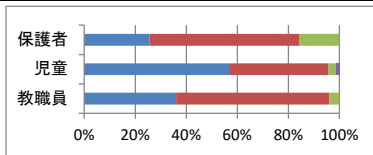


コロナ禍で、主なPTA行事も行えていないため保護者のポイントが低い状況である。PTA執行部と連携し、PTA活動の在り方や内容の改善等も行って生きた。

0

16 あいさつ

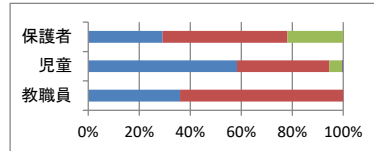
子どもは、進んであいさつしていると思いますか。



「4」と「3」の割合が三者とも80%以上であり、日常的な指導の成果が表れているといえる。朝の挨拶運動や月目標での意識付けを行うことによってさらに成果を上げていきたい。

17 学習への意欲・表現力

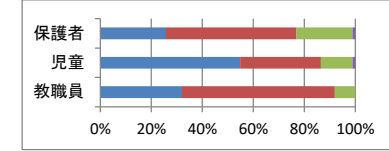
子どもは、授業中に進んで考え、友達と対話や話し合いをしていますか。



保護者の評価が若干落ちるものの、児童と教師の評価は非常に高い。学校教育目標として掲げて取り組んだ清雅だと言える。今後も継続していきたい。

18 主体性な態度

子どもは、何事にもチャレンジ（やってみよう）していると思いますか。



今年度、初めて掲げた教育目標である。学校朝会や教職員同士の共通理解の深まりが共通実践に結びついている。

来年度の具体的な取り組みについて

- 道徳授業参観や親子道徳の日の取り組みをさらに充実させ、全校上げて道徳教育の充実を図っていききたい。
- タブレットの活用をさらに進め、わかる・できる授業へと完全を日々行っていく。その中で、対話のある授業を目指し、校内研修を充実させていく。
- いじめや不登校など、いじめ防止対策委員会、校内支援委員会等をさらに充実させ、組織で対応するように勤めていきたい。
- 安全点検の充実、子どもが自分の命を自分で守る教育の充実に向け、安心・安全な学校づくりをさらに進めていく。
- 学校教育目標を、学校だよりや授業参観、学級懇談会等で保護者に示し保護者の理解をさらに進めたい。
- あいさつについては、日常的な指導に加え、心かやげ月間の挨拶運動や道徳の授業等で心と身体で実感できるよう取り組みを継続したい。
- 学校教育目標である「一人一人が輝く、自分で考え、主体的に行動する子ども」にむけて、各校務分掌で取り組みを深めていく。子どもたちにも意識させながら日々の生活を送るよう指導を行っていく。

学校関係者評価

- タブレットの導入で、オンライン授業が始まり先生方の創意工夫が見られる。コロナ禍で大変だと思うが、子どもたちの学びをすすめてほしい。
- 先生方が、時間的・精神的にゆとりをもって仕事ができるようさらに働き方改革を進めてほしい。
- 今後とも、登下校の安全や自転車運転の仕方等の安全教育を進めてほしい。
- 不登校児童については、今後も家庭との連携を密にし進めてほしい。
- 今後も子どもたちが安心して通える学校であってほしい。